

兵庫県のみ漁場環境情報 (淡路周辺海域 7 号)

2025年12月24日発行
 兵庫のみ研究所

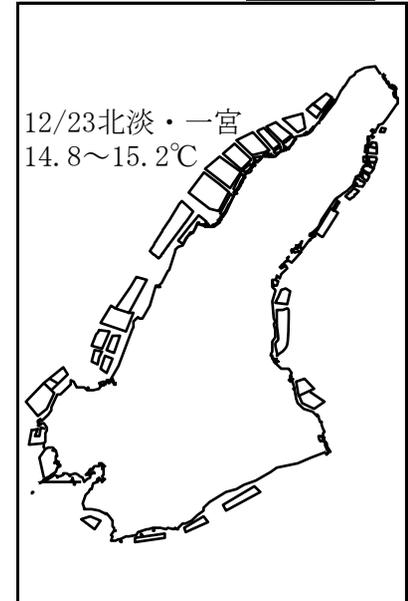
西浦・南浦海域で大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(12/16)よりも減少しており、海域全般において珪藻類の発生は少ない状況です。そのため窒素は、西浦・南浦海域で3~4 $\mu\text{g at/L}$ 台、東浦海域で概ね5 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっており、前回よりもやや増加しています。

(珪藻、栄養塩)

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西浦・南浦海域で0~25細胞(前回値:0~110細胞)、東浦海域では確認されなかった。また、海域全般に小型珪藻のスケルトネマ・キートセロス等がわずかに確認された。

⑭仮屋では夜光虫が多く確認され、その影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	4.6	5.9	5.3	5.4
	リン	0.56	0.64	0.57	0.64
西浦地先	窒素	3.0	3.8	4.3	3.3
	リン	0.61	0.58	0.61	0.55
南浦地先	窒素	3.4	4.2	4.8	5.2
	リン	0.51	0.59	0.60	0.71

(12/16)

(12/26)

栄養塩(窒素) 図

2025年12月24日調査

